

2018 年度第 4 回 特定非営利活動法人日本火山学会 理事会 議事録

開催日時および開催場所

2018 年 8 月 22 日 9 時 10 分～24 日 13 時 17 分

メール審議

出席者：篠原宏志，青山 裕，井口正人，石峯康浩，市原美恵，大野希一，下司信夫，嶋野岳人，高木朗充，東宮昭彦，千葉達朗，西村太志，萬年一剛，宮縁育夫，吉本充宏，
欠席者：なし

議案 1 新たなワーキンググループの設置について

JPGU から問い合わせのあった「夢ロードマップ」に対する火山学分野の意見の取りまとめ

2) 学術会議が策定する大規模研究計画に関するマスタープラン 2017 の改定に関する分野としての対応

3) 60 周年の検討結果を具体的なアクションにつなげる方策の検討

日本火山学会 60 周年記念事業報告書の提言の具体化や、今年度行われる日本地球惑星科学連合における地球科学の「夢ロードマップ」の改訂にむけた火山学分野の意見とりまとめ要請への対応、学術会議による大規模研究計画に関するマスタープラン 2017 の改定に関する火山学分野としての対応を行うため、火山学会として火山学の重要研究課題を取りまとめることを目的とするワーキンググループを設置する提案書が市原美恵理事および奥村聡会員から提案された（別紙資料 1）。

これに対し、設置趣旨としては賛成意見が多数を占めたが、火山学会としての対応を行うためにはワーキンググループの設置が適当かどうか、あるいは設置目的に予算獲得を含めた大型研究プロジェクトの立ち上げを含めることの妥当性などについて意見が出された。

これらの意見を受けて、本提案は一度取り下げ、学会内にどのような組織を設置して本提案の趣旨を実行するかについては次回の第 5 回理事会にて改めて提案・議論することとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2018 年 10 月 10 日

議長 篠原宏志

議事録署名人 千葉達朗 西村太志

別紙 1

日本火山学会理事会 御中

2018 年 8 月 19 日

火山学術に関する研究課題を検討するWGを開催させて頂きたく、提案書を提出させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

東北大学大学院理学研究科地学専攻 奥村聡

satoshi.okumura.d2@tohoku.ac.jp

東京大学地震研究所 市原美恵

ichihara@eri.u-tokyo.ac.jp

WG 名称 重要研究課題検討 WG

目的 学術研究の発展には、重要研究課題を取り扱う大型研究プロジェクトが非常に有効である。火山学においても、大型研究プロジェクトは学術的研究成果だけではなく、次世代人材育成や新しい研究領域の開拓など将来の発展に対して大きく貢献してきた（大型研究プロジェクトの重要性は 60 周年記念事業報告書に取りまとめられている）。しかしながら現在、火山学中心のボトムアップ型大型研究プロジェクトはほとんど進められておらず、火山学の重要研究課題について議論し、次なるプロジェクト立ち上げの準備を急ぎ進める必要性がある。また、JpGU では各サイエンスセクションごとのロードマップ改訂が進められ、固体地球サイエンスセクションでは学術発展のために融合研究（フォーカスグループ）の公募も行われている。このような状況下、周辺学問分野も含めた広い視野で火山学をレビューし、火山学の重要研究課題を取りまとめる WG を立ち上げたい。検討内容や方法に関して自由度を確保し独立に検討を進めるために学会委員会ではなく WG という形を希望する。

活動内容 火山学術の重要研究課題について取りまとめるために、2 年をめぐりに以下の活動を行う。

1. WG メンバーの間で研究課題を提案する。60 周年記念事業 WG1 の取りまとめを参考にする。
2. 上記 1 で提案された課題の中から複数の課題に関して、研究会を開催する。特に火山学会所属以外の研究者にも積極的に講演してもらうことで、周辺学問分野との融合を進める。
3. 研究会を通して得られた知見を含めて、周辺分野へ波及効果の高い大型研究課題としてとりまとめを行う。どのような活動が本 WG の目的を達成するために有効であるかについても、WG 全体を通して議論し、有効な活動は随時進めていく。最終的には、火山学会として対応が可能な内容については理事会へ提案し、また周辺分野への波及効果が期待される大型研究課題については JpGU 固体セクションの融合研究として提案する。

代表者 奥村聡（東北大学）・市原美恵（東京大学地震研究所）

WG メンバー コアメンバーとして以下のメンバーの内、賛同して下さる方々 ■60 周年記念事業委員会委員

■60 周年記念事業委員会WG 1 メンバー ■60 周年火山特集号を受けての学会セッション提案者である鈴木雄治郎・中村仁美両氏 さらに、上記賛同者を確定したうえで全学会員にアナウンスし賛同者を募る予定である

経費の必要性 会議の会場費と研究会の講演者旅費として 35 万円（1 年目は 10 万円，2 年目は 25 万円）を必要とする． 内訳 JpGU 時の打ち合わせの会場費 5 万円（2 時間）（1 年目、2 年目） 火山学会秋季大会時の打ち合わせの会場費 5 万円（2 時間）（1 年目、2 年目） 研究会の招待講演者の旅費 15 万円（3 万円×5 名程度）（2 年目）